

特許紹介

第30巻第2號 昭和19年2月

電柱及枕木等の防腐處理法

(特許第155818號 發明者) 上村吉雄
(特許権者)

從來避け難いとされてゐた電柱及枕木等の内部腐蝕又は外部腐蝕等を完全に除去し、僅少なる鹽類、油類を用ひて木材の防腐化を完全ならしめやうとした防腐處理法である。之には第一資料と第二資料とを用ゐるもので、即ちクロムの鹽及砒素の鹽を瓦斯液に溶解したものを第一資料とし、コールタールに銅、水銀、鐵、アルミニウム、マグネシウム、ニッケル、マンガン、亜鉛、鉛、錫の鹽化物の一種或は數種を配合した加熱油狀物を第二資料とする。電柱及枕木等を防腐處理するには、先づ第一資料を以て處理した後に、第二資料を以て更に處理すればよいので、或は上記順序の逆を行つてもよい。

上水道用貯水池を利用する發電裝置

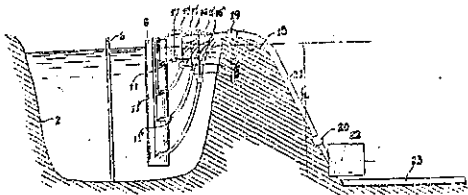
用のサイフォン裝置

(特許第153924號 發明者) 天野原
(特許権者)

從來利用せられる事なく反つて水勢の減殺に特殊の設備を要した上水道用貯水池の水壓を利用して發電させ、而も從來普通の發電裝置に比し、沈砂池及壓力調整槽等を必要とせず、尙觀測塔内で水の清濁を觀測しつゝ多數の採水管中任意のものを自在に開閉して臨時清澄なる水層から採水し得るやうにして、上水道としての使用には支障なからしめたものである(圖-1, 2)。

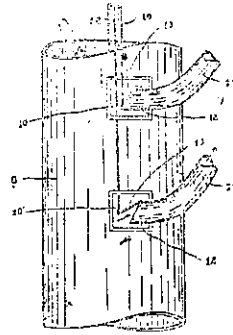
上水道の貯水池に貯溜せられた水の清濁を、貯水池内に設けた觀測塔(8)内から其の多數の窓の中の任意のものを通して觀測するやうにする。且つ其の窓の傍に夫々設けられ、集合してサイフォンに到る多數の分岐採水管を塔内から任意に開き得るやうにし、其のサイフンの一方の枝管で吸上げた水を、上部太くて下部に到るに従ひ次第に細い、他方の枝管(水壓管)(21)を経て發電機に到らしめる。

圖-1. 發電裝置の側面圖



サイフン管の頂部には排氣又は注水用のポンプを連結させる。

圖-2. 採水裝置の側面圖

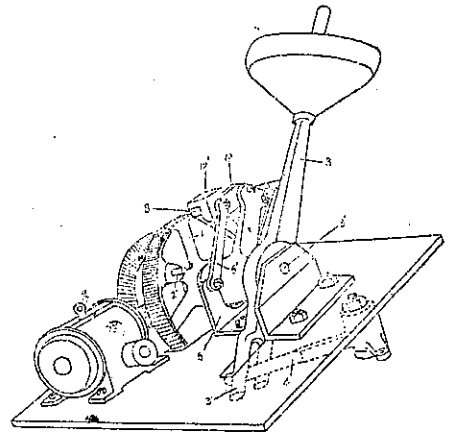


轉 轆 機

(特許第159205號 發明者 鹽山克彦、八田秀吉)
(特許権者) 日本製鐵株式会社

機構簡單で、容易且つ圓滑に轉轆挺子を轉換する事が出来、殊に原動機としてモーターを用ゐる時は電動機の惰力の爲め轉轆機轉換後廻轉を持續しても機構を損することなく、又逆に尖端軌條から轉轆挺子が轉換することがあつても轉轆機に損傷を與へないやうにしたものである(圖-3, 4)。

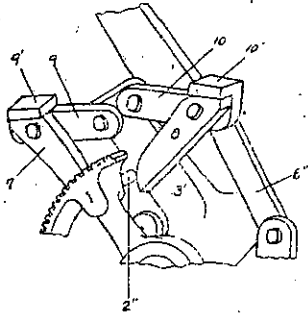
圖-3. 全體の斜視圖



轉轆挺子(3)の軸(3'')の中心線に對し、對稱位置にあつて廻轉する二個のピン(2')(2'')と、上記挺子(3)と平行なる腕(3')に左右對稱にリンク(9)(10)を介し

て爪 (7)(8) を垂下し、其の爪はリンクに對し一方向に廻動するが他方向には廻動しないやうにすると共に、前記ピンは爪に係合傳導して轉轍挺子を右或は左に轉換し得るやうにしたものである。

圖-4 全體の斜視圖

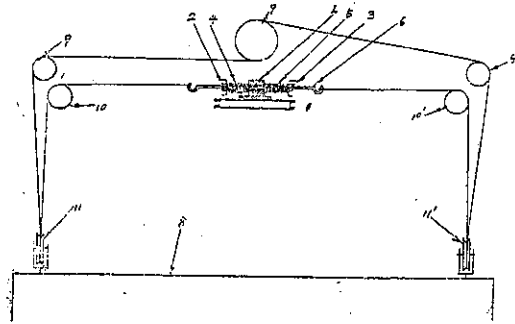


門 扉 捲 上 装 置

(特許第 150794 號 發明者)
(特許權者) 櫻山隆三

水門扉捲上用の左右鋼索に於ける張力の不均衡、門扉の片上り等を自動的に調節せしめ得るやうにしたもの

圖-5.



である (圖-5)。

水門扉上端の左右兩側に設けた滑車に鋼索を掛け、捲上機を以て昇降せしめる場合、左右滑車に掛けた鋼索の各一端を次の如き特殊装置を有する均衡桿の兩端に結び付けるのである。即ち均衡桿は其の中央部を軸承 (1) に依り支承せられ、此軸承を中間に挟む均衡桿 (6) 上の左右兩側に止ナット (2)(3) が捻止めせられ、其の止ナット (2)(3) と軸承 (1) の左右兩端面間に螺旋發條 (4)(5) が介装せられてゐる。